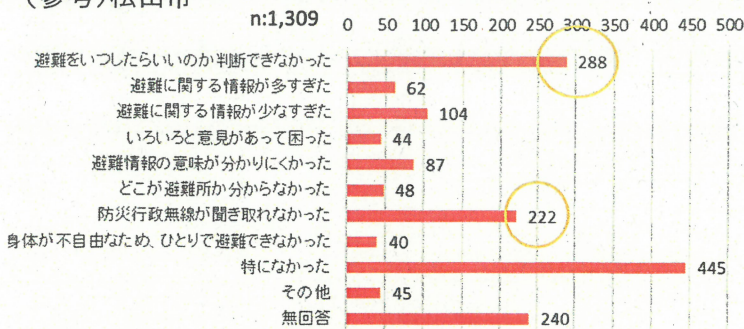
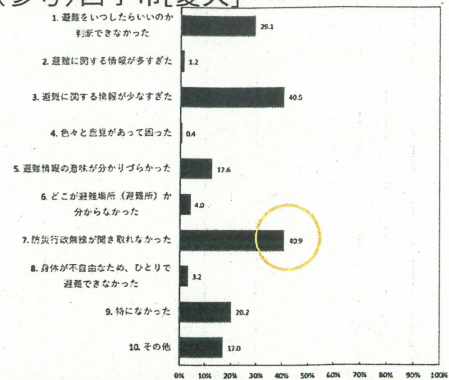


アンケート結果<避難にあたり困ったこと>

(参考)松山市



(参考)西予市[愛大] n: 247



【市町毎の住民からの自由意見(抜粋)】

市町名	意見
今治市	・身体障がい者の避難方法
八幡浜市	・戸別放送受信装置による早めの避難情報が必要だと思った。 ・避難の緊急度合いをもっと分かりやすい区分にして欲しい。 ・雨音で放送が聞こえなかった。
大洲市	・足が悪い母がいるので避難が難しい。 ・避難所にペットと避難することを可としてほしい。 ・一人暮らしなので避難を判断する決断に困った。
松野町	・戸別受信機がないので防災行政無線が分からなかった。 ・タイムリーな情報がない。
鬼北町	・体の不自由な家族がいる。 ・避難場所も浸水していた。

14

<まとめ>

○避難行動を開始するタイミングとして、実際に浸水したり、土砂が流れ出たりと被害が起き始めてから避難する方が多い傾向にある。これは避難しなかった理由で「ここまでの水害が起きると思わなかった」という意見が多かったように水害等への危機意識が低かったことが一因であると推測できる。

○また、避難をいつ行ったらいいのか判断できなかったという意見が多く、避難に関わる情報を入手できなかった、上手く活用できなかった方が多いと考えられる。



○避難に際しては、消防団や自主防災組織等の呼びかけが有効であり、平時から地域が一体となり防災意識を向上させていく必要がある。

○避難勧告の情報の重要性を認識していない住民が多く、避難勧告の時点で適切に避難させる必要がある。

○防災行政無線により情報を入手した方が多い一方で、豪雨の際は聞き取りづらかったという意見も多く、戸別受信機の整備や屋外スピーカーの性能向上を図るとともに、住民の方に切迫感が伝わる言葉で情報を発信していく必要がある。

○情報の入手手段としてテレビが多かったことから、メディアと連携し、きめ細かい情報を早め早めに発信していく必要がある。また、防災メールやアプリの利用者も増えていることから、このような媒体を活用した情報発信にも力を入れていく必要がある。

15